平成30年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	文章表現基礎講座 (Basic Course of Sentence Expression) 【経営経済学部】		授業コード	A030878	
担当教員名	森迫 誠			科目ナンバリン グコード	A10303
配当学年	1	開講期	後期		
必修•選択区分	必修	単位数	2		
履修上の注意また は履修条件	「基礎学力講座(国語)」を履修している	ることが望ましい。			
受講心得	教科書は必ず持参してください。ノーがよろしい。予習や復習のために図書う。欠席や遅刻のないように、また、授と。	館や人間力育成セン	ターの図	書を積極的に	利用しましょ
教科書	名古屋大学日本語研究会 GK7著 之 ~(東京書籍)	スキルアップ!日本語	吾力~大 ^会	学生のための日	本語練習帳
参考文献及び指定 図書	『三省堂国語辞典 第六版』(比較的堂)、小学館辞書編集部(編)『日本語辞典』(学習研究社)、『国語カアップ4プ400問』(NHK出版[生活人新書10知納善光『漢字の常識・非常識』(講談+α新書6-1 C)、秋月高太郎『ありドリル』(集英社新書0428E)、佐竹秀『日本語の逆襲』(小学館)、清水義範「口裕一『本当に使える!日本語練習ノ帳』(朝日文庫)。	更利辞典』(小学館)、 00問』(NHK出版[生 5])、水谷信子『心を 社現代新書954)、 えない日本語』(ちく 雄『日本語教室Q&A 『日本語がもっと面白	金田一看 活人新書 伝える日 も も ま ま ま き き き り り く な く な り り り り り り り り り り り り く り り く り く	F彦(監修)『手 FO67])、『国語 本語講座』(研 日本語の「大疑ト 日本語の「大疑ト ロイア文庫)、針 マイア文庫)、針 マルの本』(光文	紙の書き方 語力もつとアッ 記力も出版)、 問」』(講談社 『王道日郎 古木輝一郎 て社文庫)、樋
関連科目	社会参画入門、社会参画実習1、基礎	学力講座(国語)、英	語1・2、作	青報リテラシー	1•2

授業の目的	基礎的な国語力はあらゆる学習分野で求められる重要な要素です。大学初年度における国語教育は4年間の勉学生活の土台を提供するとともに、卒業後の社会人がもつべき一般常識を養う側面をも有します。1年次前期の「基礎学力講座(国語)」では文字表現や文章作成を学びましたが、後期のこの科目ではそれに引き続き、文章実践や口語表現を学んでさらに日本語力に磨きをかけ、それによって特に日常生活におけるコミュニケーション能力の養成を図ります。
授業の概要	第1週の前半はこの科目のオリエンテーション。第1週の後半から第15週まで教科書の第1章から第4章までを学んで行きます。敬語、文法、語彙・言葉の意味、漢字・表記を中心に日常のコミュニケーションに活かせる言語表現を徹底して練習します。 第16週に第1週から第15週までの授業内容についての期末試験を行います。

〇授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第1週: 半年間の学習に関するオリエンテーション。授業の進め方、出欠の取り方、遅刻・早退の取り扱い、試験の行い方、授業中の発表の取り扱い、質問の受け付け、成績評価の方法等について説明します。授業の後半では教科書の第1章第1回 敬語の種類と使い分けを取り扱います。	第1週~第15週 授業に 出る前に教科書の該当箇 所をよく読み、練習問題を 解いてみること。必要に応 じ辞書(国語辞典等)を引く こと。
第2週: 教科書の第1章第2回 注意すべき敬語	教科書P18~P20を読み、 P21の練習問題およびP23 の応用問題をとくこと。
第3週:	

教科書の第1章第3回	配慮を示す言葉	教科書P24~P26を読み、 P27の練習問題およびP29 の応用問題をとくこと。
第4週: 第4週:		
教科書の第2章第4回	品詞・活用の種類	教科書P32~P34を読み、 P35の練習問題およびP37 の応用問題をとくこと。
第 5 週:		
教科書の第2章第5回	ら抜き言葉・レタス言葉・さ入れ言葉	教科書P38~P40を読み、 P41の練習問題およびP43 の応用問題をとくこと。
第 6 週:		
教科書の第2章第6回	文のねじれと言葉の係り受け・あいまい文	教科書P44~P46を読み、 P47の練習問題およびP49 の応用問題をとくこと。
第7週: 第7週:		
教科書の第2章第7回	接続語・指示語と文章	教科書P50~P52を読み、 P53の練習問題およびP55 の応用問題をとくこと。
第8週:		
教科書の第3章第8回	類義語•対義語	教科書P58~P60を読み、 P61の練習問題およびP63 の応用問題をとくこと。
第 9 週:		
教科書の第3章第9回	動詞の自他・視点	教科書P64~P66を読み、 P67の練習問題およびP69 の応用問題をとくこと。
,,, , , , , , , , , , , , , , , , , ,	文体、話し言葉・書き言葉	教科書P70~P72を読み、 P73の練習問題およびP74 の応用問題をとくこと。
第11週:		
教科書の第3章第11回	コロケーション	教科書P76~P78を読み、 P79の練習問題およびP81 の応用問題をとくこと。
第12週:		
教科書の第4章第12回	部首·音訓·熟語	教科書P84~P86を読み、 P87の練習問題およびP89 の応用問題をとくこと。
第13週:		
教科書の第4章第13回	仮名遣い・送り仮名	教科書P90~P92を読み、 P93の練習問題およびP95 の応用問題をとくこと。
第14週:		
教科書の第5章第14回] 総合問題 ①	教科書P98~P103の総合 問題をとくこと。

第16週:期末試験	4回 総合問題 ② ! までの授業内容についての試験を行い	ます。	第15週 授業終了後、第1 6週の期末試験に備え容を 再度を表するまに 一次の期末が受け、必要 一次の 一次の 一次の 一次の 一次の 一次の 一次の 一次の 一次の 一次の
	(1)授業の形式	「演習等形式」	
授業の運営方法	(2)複数担当の場合の方式	「複数クラス方式」	
	(3)アクティブ・ラーニング		
地域志向科目	該当しない		
備考			

〇単位を修得するために達成すべき到達目標		
【関心・意欲・態度】	ふだんの生活の中で何気なく使っている日本語にたいして意識を高め、日本語として自然な表現に関心をもち、一般社会人としての十分なコミュニケーションが行えること。	
【知識·理解】	日常の言語的コミュニケーションに必要な、日本語の基礎的な理解力と文章表現力とを有すること。	
【技能・表現・コミュニ ケーション】	日常の言語的コミュニケーションを十分に行うために必要な日本語の運用能力を備え、相手にわかりやすく説明できること。	
【思考·判断·創 造】	日常の言語活動において的確な言葉を選択する能力や、適切な言葉によって深く掘り下げて考える能力が身についていること。	

〇成績評価基準(合計100点)			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評 価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等 (テスト)	レポート・作品等 (提出物)	発表・その他 (無形成果)	
【 関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」 を含む。	25点		30	点
【知識・理解】 ※「専門能力〈知識の獲得〉」を含む。	15点			
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力〈知識の活用〉」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。	15点			
【 思考・判断・創造】 ※「考え抜くカ」を含む。	15点			

(「人間力」について)

※以上の観点に、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。

〇配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安		
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安	
レポート・作品等 (提出物)		
発表・その他 (無形成果)		